

＝令和元年度早川南小学校だより＝

はるき



令和2年3月3日

No.48

校長 坂野修一

臨時休業について思うこと

～子どもたちの健康を願います～



病気から体を守るのに大事なことは、免疫力を高めることだと言われています。ストレスなんて、もってのほかだと言われています。しかし、一国の総理の唐突な「全国一斉休校発言」によって、日本全国に激震が走りました。全国の教職員はストレスがMAXになったことでしょう。27日(木)の夕方要請し、2日(月)から全国一律休校なんて無理…。山梨県教委は、各地教委や学校現場に考える時間を、そして準備をする時間を与えてくれました。そして、その結果、早川町は15日(日)までを臨時休業とし、16日(月)から学校を再開する方向となりました。子どもたちの健康と安全を守るために、政府が先週何度何度も繰り返していた「拡大を抑えるためには、ここから1～2週間が非常に重要になってくる」と言った内容を受け、その目安である2週間は休校措置にしたわけです。

「子どもたちの健康と安全を第一に考えた措置だ」「断腸の思い」…。29日(土)の緊急会見を生で見ましたが、総理の説明を聞いていて到底納得することはできませんでした。「なぜ、いまだ感染源にはなっていない学校なの?」「なぜ全国一斉なの?」「なぜ2週間でなく春休みまでなの?」「なぜ唐突な発表になったの?」等、そのあたりが明確になりませんでした。総理は、プロンプターに映った原稿を一気に読み上げ、その次は、あらかじめ内容通告があった質問に答え、最後は時間がないと言って会見を打ち切りました。あの会見はなんだったのでしょうか…。記者クラブ主催の総理演説会を聞いただけでした。

3月は卒業、進級を控えた1年間で一番大事な月です。その3月が総理の一言で消えてしまったのです。いくら総理が要請したからといって、全国的には昨日の2日から休校措置をとっている学校がほとんどであるということに、私は恐ろしい気持ちを覚えます。地教委の役目は?現場の校長は物を言ったの?議論に議論を重ねた結果だったら仕方がないですが、「総理が言ったことだから」「知事が言ったことだから」「首長が言ったことだから」従うしかない…だとしたら、この国の行く末は恐ろしいです。

3月は卒業、進級を控えた1年間で一番大事な月です。その3月が総理の一言で消えてしまったのです。いくら総理が要請したからといって、全国的には昨日の2日から休校措置をとっている学校がほとんどであるということに、私は恐ろしい気持ちを覚えます。地教委の役目は?現場の校長は物を言ったの?議論に議論を重ねた結果だったら仕方がないですが、「総理が言ったことだから」「知事が言ったことだから」「首長が言ったことだから」従うしかない…だとしたら、この国の行く末は恐ろしいです。

学校は子どもたちは勉強をするところです。勉強が1カ月できなくなって、全国の学校は4月以降どうするのでしょうか?「保護者の仕事と日中の子どもの生活のこと」が一番の話題になることは当然ですが、「やるべき学習ができないということ」の議論が表になかなか出てこないことが気になります。やり残した学習内容があれば、新年度になって教えなくてはなりません。クラス替えのない担任持ち上がりの学級なら問題なく学習ができることでしょう。しかし、そうとばかりは限りません。この1カ月の遅れを取り戻すために、令和2年度の夏休みは短くなるのでしょうか?こんな状況でも、数十億もかけて全国学力テストを行うのでしょうか?急な休校措置とはいえ、学校現場に丸投げされた感でいっぱいです。言いたいことは山ほどありますがこのくらいにしておきます。

最後はお願いです。山梨県内の感染状況が悪化するようなことがなければ、早川町は16日に学校が再開できます。(ちなみに、首相の指示通りの休校措置をとらなかったところは、富士吉田市、都留市、道志村、西桂町、忍野村、鳴沢村、早川町の計7市町村です。)ですから、明日から15日(日)までの家庭での生活は非常に大切になってきます。各担任より、臨時休業中の過ごし方については十分に指導をしましたが、是非ご家庭におきましても、お子様への健康と安全へ細心の注意を払っていただけますようお願いいたします。そして、16日(月)元気な歓声が学校に響くことを心から願っています。

「16日再登校不可…。春休みまで臨時休業延長…。」これだけは避けたい…。